オデッサ・テクノス株式会社

2023 年度　環境経営レポート

（対象期間2023 年4月1日～ 2024 年3月31日）

作成日：　2024年5月1日

目　　次

項　　目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績／各自治体の許可取得状況	5
環境経営目標及びその実績 受託した産業廃棄物の処理量	6～7
環境経営計画の取組結果とその評価，次年度の環境経営計画	8～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無 外部からの環境上の苦情・要請等 緊急事態対応試行・訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

環境経営方針

＜環境経営理念＞

オデッサ・テクノス株式会社は、建設工事において発生する産業廃棄物のリサイクル事業及び関連技術・製品の普及活動を通じて環境負荷の抑制や低減及び継続的改善に取り組み、環境保全に貢献する企業を目指します。

＜環境保全への行動指針＞

１．産業廃棄物である建設副産物（汚泥、残土）の健全で適切なリサイクル事業を推進し、環境負荷の低減、循環型社会システムの構築に貢献します。

２．省エネルギー、省資源、グリーン購入を推進し、環境負荷の低減を図ります。

３．環境に関する情報の提供・公表を行います。

４．環境関連の法規等を遵守し、環境保全への取り組みを行います。

５．環境方針は、全従業員に周知徹底するとともに、実行維持に努めます。

制定日： 2005年3月1日
改定日： 2008年6月1日

代表取締役　　高崎 三晴

□組織の概要

更新日： 2023年4月1日

（1） 名称及び代表者名
オデッサ・テクノス株式会社
代表取締役　高崎 三晴

（2） 所在地

本　　社	宮城県仙台市宮城野区榴岡二丁目２番１０号
札幌工場	北海道札幌市東区北丘珠一条三丁目６５４
石狩工場	北海道石狩市新港南一丁目２８番２６
計量事業部	宮城県仙台市宮城野区中野字出花９９番１
仙台オデッサ	宮城県仙台市宮城野区扇町七丁目４番３号

（3） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　有凉 全・伊藤宏幸・高橋良彰　　TEL：011-787-1335
担当者　八木朋弘・長谷川博之・馳尾あゆみ・田村美樹・伊藤佐保・横橋有希子

（4） 事業内容
産業廃棄物処分業

（5） 法人設立年月日　1994年4月4日

（6） 資本金　9500万円

（7） 事業の規模
売上高　132,312 万円

	本　社	札幌工場	石狩工場	計量事業部	仙台オデッサ	合計
従業員　名	5 名	11 名	3 名	3 名	9 名	31名
延べ床面積　㎡	132.3 ㎡	8082 ㎡	9900.5 ㎡	303.2 ㎡	4678 ㎡	23,096㎡

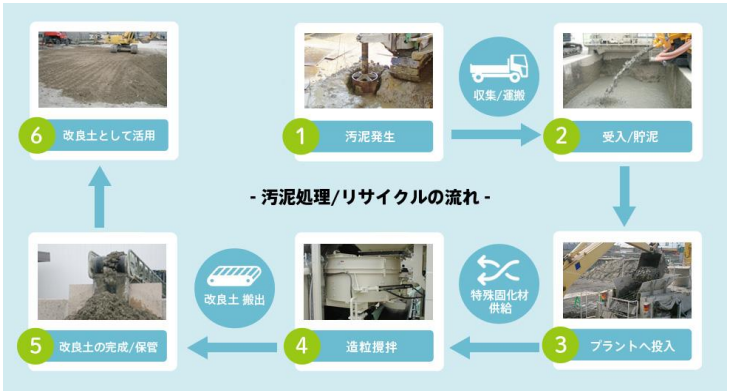
（8） 車両及び施設等の状況
■産業廃棄物収集運搬車両

車種	台数
10ｔダンプトラック	10
4ｔユニック	3
アジテーター車	2
バキューム車	1

■産業廃棄物処理施設

施設の名称	中間処理施設	保管施設
札幌工場 造粒固化施設	300㎥／日（10時間）	
石狩工場 造粒固化施設		面積：240㎡　保管上限：432㎥
石狩工場 分級･磁力選別施設	1,440㎥／日（24時間）	
仙台オデッサ 造粒固化施設	1,440㎥／日（24時間）	

（9） 処理工程図

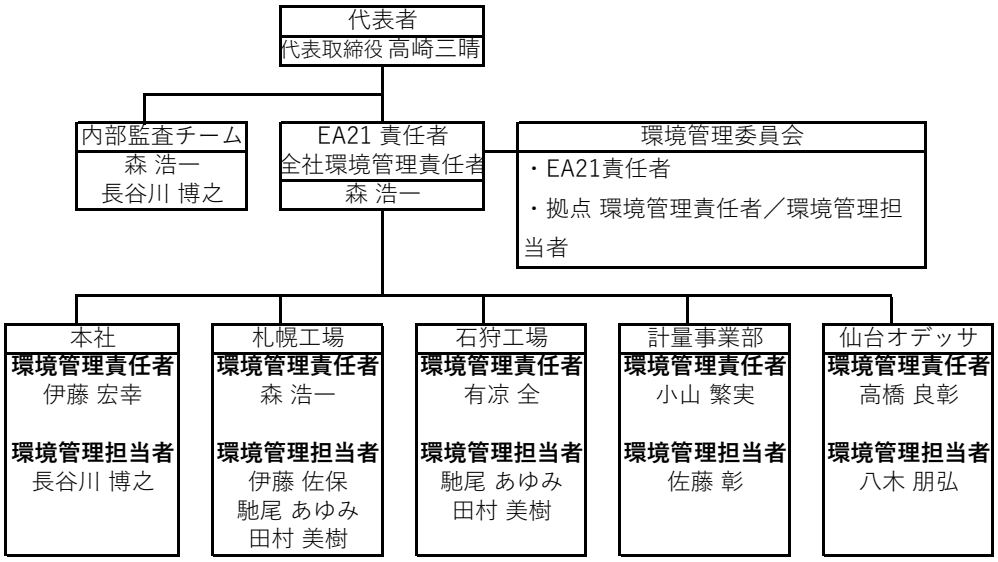


□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名　オデッサ・テクノス株式会社
対象事業所　本　　社　　仙台市宮城野区榴岡二丁目２番１０号
　　札幌工場　　札幌市東区北丘珠１条三丁目６５４
　　石狩工場　　石狩市新港南一丁目２８番２６
　　計量事業部　　仙台市宮城野区中野字出花９９番１
　　仙台オデッサ　仙台市宮城野区扇町七丁目４番３号

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2023年4月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境管理委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
環境管理委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画
	・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

□各自治体の許可取得状況

※仙台オデッサ株式会社

事業の種類：産業廃棄物処分業

取得地	内容	許可番号	許可年月日 有効年月日	廃棄物の種類
北海道	移動式・固定式	00120046252	2022年11月16日 2029年11月7日	汚泥
札幌市	固定式	05120046252	2020年8月16日 2027年8月15日	汚泥
岩手県	移動式	00320046252	2023年2月6日 2030年2月5日	汚泥
宮城県	移動式	00420046252	2022年8月13日 2029年8月12日	汚泥
仙台市　※	固定式	05420205555	2023年11月1日 2028年10月31日	汚泥
秋田県	移動式	00524046252	2023年1月9日 2030年1月8日	汚泥
秋田市	移動式	08622046252	2023年1月20日 2030年1月19日	汚泥
福島県	移動式	00720046252	2022年6月16日 2027年6月15日	汚泥
郡山市	移動式	08720046252	2022年7月7日 2029年7月6日	汚泥
東京都	移動式	13-20-046252	2023年2月17日 2030年2月16日	汚泥

事業の種類：産業廃棄物収集運搬業

取得地	内容	許可番号	許可年月日 有効年月日	廃棄物の種類
北海道	収集運搬	00100046252	2018年4月24日 2025年4月23日	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず･コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
宮城県　※	収集運搬	00400205555	2024年3月19日 2029年3月18日	
岩手県	収集運搬	00300046252	2020年11月26日 2025年11月25日	汚泥

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	1,030,624	921,627	1,083,658
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	1.350	0.817	0.667
産業廃棄物排出量	トン	1,091,940	1,315,860	1,544
総排水量	m^3	1,320	1,530	1,762

※二酸化炭素排出係数　　0.493　kg-CO2/kWh　電力会社の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

項目＼年度		基準値	2023年 上段：目標 下段：通期3月末まで		評価	2024年	2025年
		（基準年）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO_2	88,891	87113.2	161,143		85,335	84,446
		88,891	87113.2	161,143	×		
	基準年度比	2019年	98%	181%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO_2	943,646	924,773	950,286		915,336	905,900
		943,646	924,773	950,286	×		
	基準年度比	2019年	98%	101%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO_2	1,032,537	1,011,886			1,000,672	990,346
一般廃棄物の削減	kg	1,441	1,369	1		1,340	1,297
		1,441	1,369	1	○		
	基準年度比	2019年	93%	0%		93%	90%
水道水の削減	m^3	1,220	1,159	1,762		1,122	1,098
			1,159	1,762	×		
	基準年度比	2019年	95%	144%		92%	90%
グリーン購入の推進（オフィス用品購入率）	%（金額率）	－	30%	34%	○	40%	50%
環境に配慮した生産活動	行動目標（次項による）						

□受託した産業廃棄物の処理量

（ｉ）収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
汚泥	t	34,639.03
	t	
	t	
	t	
合計	t	34,639.03

（ⅱ） 中間処理

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理		汚泥	造粒固化	t	122,382.87
				t	
				t	
				t	
	うち再資源化等	汚泥	造粒固化後 土木資材化	t	122,382.87
				t	
				t	
				t	
		小計		t	122,382.87
合計				t	122,382.87

（ⅲ）最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
		t	
		t	
		t	
合計		t	

（ⅳ）中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

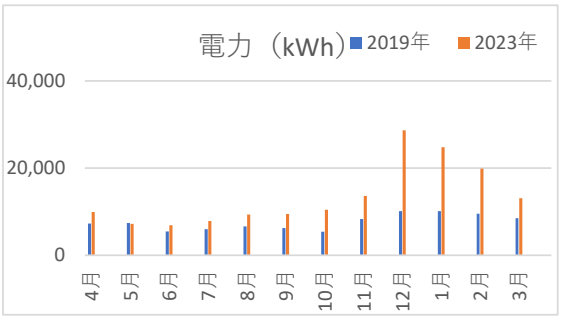
産業廃棄物		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等
中間処理後の	最終処分			t	
				t	
				t	
				t	
		小計		t	
		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量等
	中間処理（再資源化等）	汚泥（改良土）	土木資材として再生利用(売却)	t	120,978.16
		コンクリートがら	中間処理(委託)	t	1,404.71
				t	
				t	
		小計		t	122,382.87
合計				t	122,382.87

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：〇達成　×未達成

活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

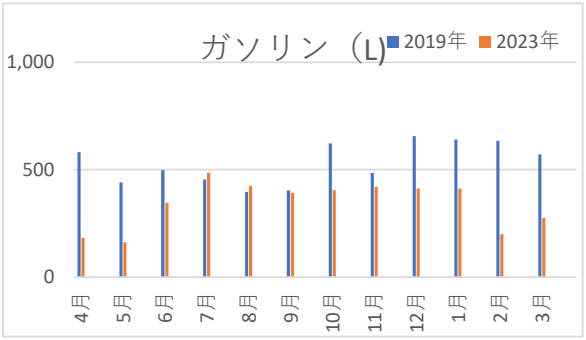
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	通期で増加となった。省電力への取り組み、５Ｓ活動が浸透し作業の効率化が図られてはいるが、稼働時間が増えている。 ノー残業デーの取組みや消灯だけでは削減に限りがあるが、引き続き業務の効率化ならびに改善活動を推進する。
・空調温度の適正化（冷房２６℃　暖房２０℃）	〇	
・不要照明の消灯	〇	
・ノー残業デーの実施	〇	
・生産工程における待機時間短縮	△	



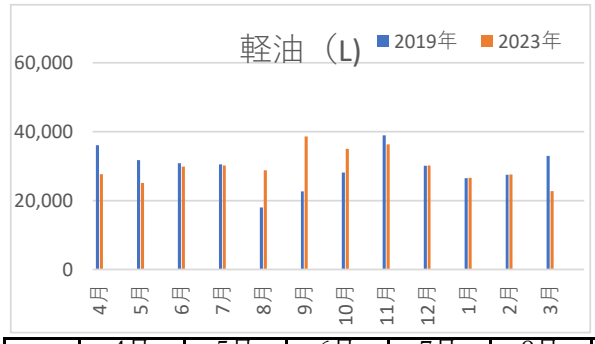
取組紹介欄

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	7,301	7,427	5,468	5,971	6,635	6,264	5,407	8,321	10,123	10,123	9,513	8,488
2023年	9,902	7,189	6,920	7,882	9,346	9,491	10,419	13,584	28,651	24,814	19,852	13,093

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	下半期からの受注による事業活動のため、通年で未達となった。 待機時間におけるアイドリング、状況を見越した運転については継続課題として取り組み中。
・アイドリングストップ	△	
・省エネルギー運転	△	



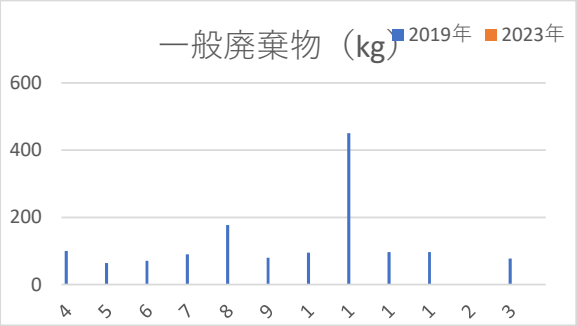
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	582	441	497	455	397	403	623	484	656	640	635	571
2023年	183	162	346	487	425	392	405	420	413	412	200	275



取組紹介欄

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	36,036	31,747	30,821	30,491	17,971	22,658	28,177	38,933	30,123	26,522	27,510	32,936
2023年	27,636	25,079	29,818	30,157	28,763	38,585	34,977	36,300	30,173	26,620	27,588	22,766

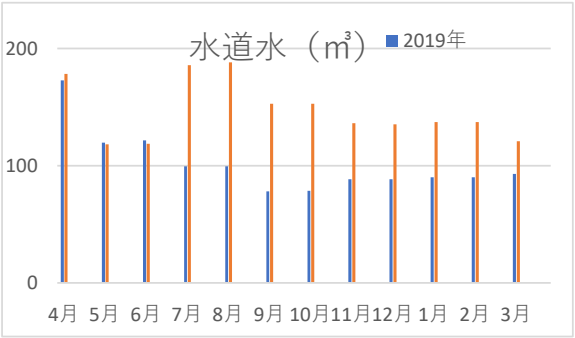
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	社内情報のデジタル化が軌道に乗ってきた。 排出量の掲示などにより『使用量削減』の意識醸成を図っていく。
・分別の徹底	○	
・コピー用紙の再利用	○	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	100	64	71	90	177	80	95	450	97	97	0	77
2023年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	５Ｓには取り組んだものの、使用量は産業廃棄物処理及び流動化処理土の出荷量にも因る。引き続き、作業の効率化を図るとともに、事務所・作業休憩所内での水使用量の管理を徹底する。また、運搬車両の洗車において、節水の協力をドラ
・事務所及び休憩所での使用状況の把握	△	
・入庫車両の洗車における節水協力	○	



取組紹介欄

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	173	120	122	100	100	78	79	89	89	90	90	93
2023年	178	118	119	186	188	153	153	136	135	137	137	121

数値目標	○	数値目標を設定したことにより、エコ商品の優先購入への意識が醸成された。
・事務用品グリーン購入比率向上	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

適用される法規	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（汚泥）
水質汚濁法	油類の保管、有害物質の取扱い
大気汚染防止法	一般粉塵発生施設
騒音規制法	施設設置場所が規制対象区域かどうか
振動規制法	施設設置場所が規制対象区域かどうか
土壌汚染対策法	有害物質の含有による土壌汚染の状況

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

１．作業現場周辺の振動に対する苦情

応急処置：操作技能レベルの高い人員を配置・慎重な重機操作を指示

再発防止：作業エリアの変更

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：　特殊車両清掃中の転落	
■実施日：　2023/7/28	■実施場所 仙台工場
■参加者：　白井・髙橋・八木・吉村・阿部勝・佐々木・高木・佐々木拓	
■実施内容 緊急事態発生時の対応訓練	
■評価：	手順書の変更の必要性　☑ あり　☐ なし
○死角における緊急事態への対応　　○構内無線を利用した連絡体制	
■実施状況の様子 想定事態：　車両清掃中の転落が、他者の死角で発生した 確認事項：　①死角をつくらない ②場内構造上やむを得ない場合は、単独作業としない ③無線等連絡体制の確認 ④医療機関への連絡、搬送体制	

緊急事態の想定：　有機溶剤中毒の発生	
■実施日：　2023/11/16	■実施場所 札幌工場
■参加者：　長谷川・五十嵐・須田・斎藤・土門・小川・森・黒崎・田嶋・左文字・有凉	
■実施内容 有機溶剤中毒の予防措置と、発生時の対応	
■評価：	手順書の変更の必要性　☑ あり　☐ なし
○中毒症状の理解　　○発症者への応急措置	
■実施状況の様子 想定事態：　プラント整備中に突然具合が悪くなった 確認事項：　①屋内作業の場合は換気設備があるか ②単独作業になる場合、他者から視認できる ③無線等連絡体制の確認 ④医療機関への連絡、搬送体制	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年4月5日

EA21の認証によりコンプライアンスの遵守姿勢が確立し、排出事業者や行政等からの評価が良好であり、外部からの工場見学の際に高評価を得ています。

事業の性格上、達成への評価は受入れる汚泥の量ならびに性状に起因するため、受入汚泥の含水率には注視しています。

また添加するポリマーは従来使用している製品の他、あらたに性能の良い薬剤を検討するとともにその開発も視野に入れ、省力･省エネルギーに対する対策を図ります。

具体的には、次の重点ポイントを継続して取り組んでいきます。

1．機器類の対応

各工場照明のLED化および重機類のハイブリッド化

2．主事業における対策

受入汚泥の性状(含水率･臭気など)チェックの標準化

処理施設からの振動および騒音に対し、適宜計測データに基づく作業遂行

3．教育啓発

外部講師の活用も検討する

全員がカイゼンへの理解を深めるため、実施に対するチェック体制を整える

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり